

海上警報

記号	警報の種類	基準
[W]	海上風警報	風速28ノット以上
[GW]	海上強風警報	風速34ノット以上
[SW]	海上暴風警報	風速48ノット以上
[TW]	海上台風警報	台風によって風速64ノット以上
FOG[W]	海上濃霧警報	視程0.3海里以下

注: その状態になっているか、24時間以内にその状態になると予想されるときに発表される。

雲画像の種類

雲画像の種類	特徴
赤外画像	雲頂高度が高い雲⇒白
可視画像	厚い(=雲水量が多い)雲⇒白
水蒸気画像	対流圏中上層の水蒸気が多い領域⇒白

フェーン現象

- 山の風上側で水蒸気が凝結→潜熱を放出。
- 山の風下側で断熱圧縮。
→高温、乾燥。

- 日本海低気圧や台風のマわりの南風によって、日本海側で高温、乾燥。
- 対応する注意報：強風、乾燥。

突風に関する気象情報

- 気象情報
 - 半日～1日前。
- 雷注意報
 - 数時間前。
- 竜巻注意情報
 - 現在、発表から1時間有効。
 - 気象台の担当地域ごと。

突風に関する気象情報

- 竜巻発生確度ナウキャスト
 - 10分おき、1時間先まで。
 - 発生確度1、2。
 - 発生確度2→竜巻注意情報。

寒冷渦

- 寒冷渦の検出：
 - 地上天気図：見えにくい。
 - 高層天気図(500hPa、300hPa)：閉じた等高度線＋低温偏差。
 - 水蒸気画像：暗域。

寒冷渦

- 寒冷渦の影響：
 - 短時間強雨、落雷、ひょう、突風。
 - 南東象限で多い←暖湿な空気の流入。

台風構造

- 温度分布
 - 対流圏内では高温偏差。
 - 軸対称。
- 降水の非対称性
 - 進行方向右側や前方で強い降水や上昇流。
↑南風の流入
- 風の非対称性
 - 進行方向右側で強い
↑台風自身の渦＋台風の移動

大気鉛直安定度

- ショワルター安定指数 (SSI): 500hPaにおける実際の気温と、850hPa面にある空気を断熱的に500hPa面まで持ち上げたときの温度との差。
- 持ち上げ凝結高度 (LCL): 空気を断熱的に持ち上げて凝結が始まる高度。
- 自由対流高度 (LFC): 空気を断熱的に持ち上げて凝結が始まり、凝結熱による浮力を得られる高度。
- 対流有効位置エネルギー (CAPE): 空気を断熱的に持ち上げると、その温度がまわりの大気の気温より高い層では浮力により運動エネルギーを得る。これをすべて積算したもの。

府県気象情報

- 予告的な役割:
 - 警報や注意報に先立って現象を予告し、注意を呼びかける。
- 補完的な役割:
 - 警報や注意報の内容を補完して現象の経過や予想、防災上の注意点を解説する。

府県気象情報

- 持続的な大雨(温暖前線、停滞前線、地形):
 - 土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫。
 - 対応する注意報: 大雨、洪水。
- 一時的な大雨(寒冷前線):
 - 短時間強雨、落雷、ひょう、突風。
 - 対応する注意報: 大雨、洪水、雷、強風、波浪。

大雨に関する防災気象情報

- 大雨注意報
- 大雨警報
- 記録的短時間大雨情報
- 土砂災害警戒情報